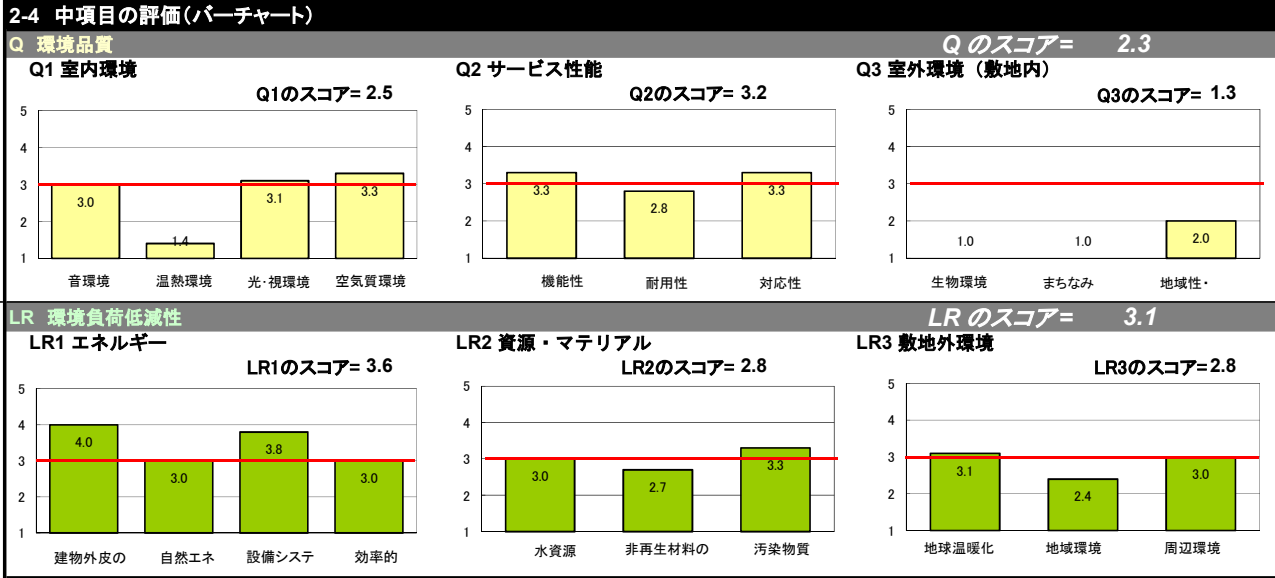
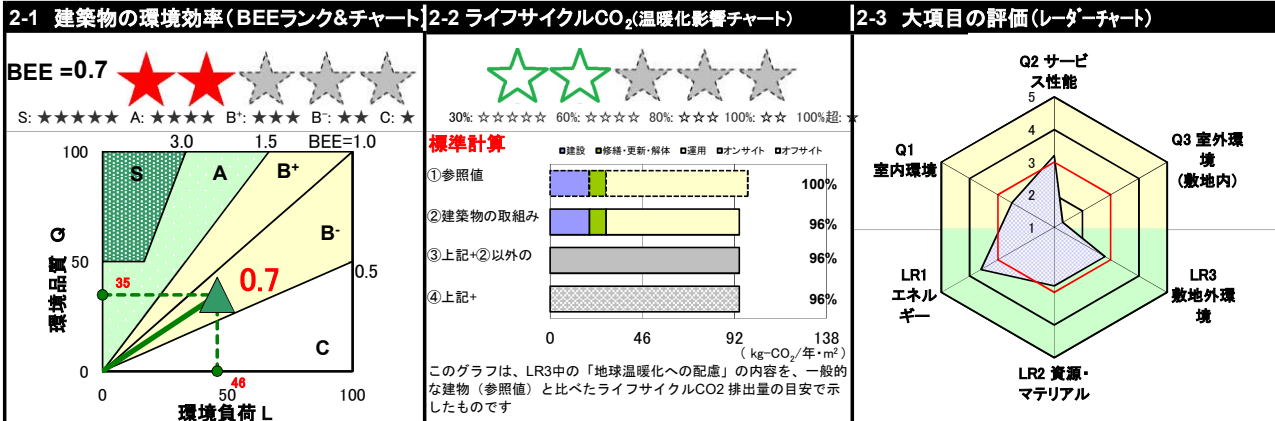


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田急本厚木開発プロジェクト開発計画新築工事	階数	地上7階、地下0階
建設地	神奈川県厚木市栄町1丁目1182番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	114 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年10月30日
敷地面積	1,507 m ²	作成者	㈱日本エコー級建築士事務所
建築面積	560 m ²	確認日	2023年10月30日
延床面積	3,548 m ²	確認者	㈱日本エコー級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
各住戸、光ケーブルが利用可能となっている。また、仕上材や給排水配管において更新間隔が長くなるような材料を採用している。	特になし	
Q1 室内環境 開口部の遮音性能がT-2を採用している。	Q2 サービス性能 各住戸に光ケーブルが利用可能となっている。 給水・給湯配管にはポリエチレン管を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 下地は軽量鉄骨+石膏ボードとなっており再利用のしやすい建物となっている。	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される